

図書館に泊まろう

～非日常的な読書の時間～

利府町図書館(宮城県利府町)

URL: <https://rifunosu.jp/library/>

テーマ

図書館と書店等が連携して行う特色ある読書活動・行事

取組概要

- ・事業目的:子どもの読書推進、図書館利用促進
- ・小学生を対象として、閉館後の図書館で、特別おはなし会や読書タイムを設けたお泊り会を実施。夜の図書館で本に親しむ経験や、仲間たちと交流する経験を提供。

取組詳細

開館(令和3年7月)から続いている人気イベントのひとつで、小学生15人が一晩図書館に泊まって、仲間たちと一緒に夜の図書館探検や、作家や書店経営者によるおはなし会を体験したり、図書館にある本を時間の制約無く自由に読むことができる読書タイムを楽しむという内容。

1回目(令和3年)は写真家の大竹英洋さん、2回目(令和4年)は絵本作家の荒井良二さん、3回目(令和5年)は子どもの本専門店「メリーゴーランド」店主の増田喜昭さんを迎え、特別おはなし会や簡単なワークショップを実施。

一晩で300冊以上の本が手に取られており、非日常の空間で、自分の好きなもの(本)に囲まれて過ごすゆたかな時間を提供できたと考えている。

毎回多くの応募があるもののスペースの関係で抽選で15人の受け入れとなっているが、参加した子どもたちからは、「心ゆくまで好きな本を読めて楽しかった」「お友達もできた」「1泊だけでなく3泊したい」などの感想があり、小学生時代の良い思い出となっていると感じる。

ゲストには本事業に加え、同日開催の一般向けのフォーラムにも出演いただき、本や作品にまつわるお話をさせていただいている。



おはなしの部屋(ドーム内)での特別おはなし会の風景。



読書タイムでは、時間を気にすることなく、好きな本を好きなだけ読むことができます。



靴を脱いで入るエリアに寝袋を用意して、15人の子どもが一晩過ごします。

基本データ

(数値は令和5年現在)

住所

宮城県利府町森郷字新
椎の木前31番地1

人口

(図書館が所在する市町村)
3.5万人

職員数(うち有資格者数)

17人(12人)

蔵書数

約10万冊

取組の成果と今後

左記の通り、普段の生活ではなかなか体験することができない、作家や書店主とのふれ合い、そして新しい仲間との交流が図られ、非日常的な環境の中で、図書館と本を楽しんでいただけた。また他の図書館利用者からも、「回数を増やして欲しい」「大人のお泊り会も実施して欲しい」などの意見をいただいている。

この取組以外にも、子どもを対象とした事業を各種展開しており、当館の利用者の中で一番貸出が多い年代層は、小学生となっている。

今後もこの企画は継続予定であり、子どもの図書館利用促進を進めるとともに、現在当館で課題となっているYA世代の図書館利用促進策も別途検討していく。